

出水市が独自の調査

県対象もれの全住民に

鹿児島県出水市は、県の水俣病
潜在患者調査対象からもちれた同市
民約二万二千人を市独自で調査す
ることを決めた。これで同市の約
三万九千市民全員が調査の対象と
なる。水俣市に隣接する同市は、

これまで七人の認定患者を出して
おり、鹿児島県は十一月中旬から
出水市、出水郡高尾野町、東町、
長島町、阿久根市五地区の一部を
対象に、潜在患者の掘り起こし調
査を行なうが、この調査は水俣病

の急を多く食べたとみられる海岸
地帯の漁民を中心に行っているの
で、五地区全住民の約六割だけが
対象。
出水市が独自で、県調査からも
れた山間部の大川内地区民を調べ

ものは、水俣病が発生し始めた二
十八年ごろから最も多く発生した
三十三―三十五年にかけ、水俣病を中
心にした不知火海連の有機水俣汚
染魚介類を行商人が売り歩いてお
り、海岸地帯でなくても、水俣病
潜在患者が出る可能性があるた
め。調査は十一月中旬から十二月
にかけて健康調査世帯自撮作りと
アンケート調査を行なう。